

# リサイクル推進員News

発行：東広島市生活環境部廃棄物対策課  
 TEL：082-420-0926 FAX：082-426-3115  
 E-mail：hgh200926@city.higashihiroshima.lg.jp

平素から本市廃棄物行政に多大なご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。  
 リサイクル推進員の方へ向けての情報提供のチラシです。普段の活動の参考にいただければ幸いです。

## 新ごみ処理施設(広島中央エコパーク)が稼働しました

令和3年10月1日から、東広島市と、近隣の竹原市、大崎上島町のごみとし尿を共同処理する施設「広島中央エコパーク」が稼働しました。

エコパークは、ごみ焼却施設の「高効率ごみ発電施設」と、し尿処理施設の「汚泥再生処理センター」で構成された施設のことです。

### 「高効率ごみ発電施設」の主な特徴

- ①1700度以上の高温でごみを溶かすため、埋立処分するものが無くなります。
- ②溶けたものは、スラグとメタルに生まれ変わり、再生資源として有効利用されます。
- ③ごみを処理するときに発生する熱エネルギーを回収して蒸気を作り、その蒸気を使って発電機を回すことで発電することができます。

### 「汚泥再生処理センター」の主な特徴

- ①汚泥脱水機により含水率70%以下にし、脱水後の汚泥は高効率ごみ発電施設の助燃剤として利用します。
- ②発生する高濃度臭気は、微生物、薬品、活性炭により臭いを取り除きます。
- ③脱水処理により発生した脱水分離液は、微生物などにより浄化し、放流水の一部は施設内の洗浄水として再利用することで水を節約します。

そのほか、誰でも利用できる交流スペースや、ごみ発電施設・汚泥再生処理センターの運転を同一フロアで一周できる見学通路を有しています。

また、災害時には避難場所や災害ごみの一時仮置き場として活用することができます。

一般の方への施設見学もおこなわれています。(事前予約による見学ツアーもあります)



# 交付金の活用方法

リサイクル推進員の皆さんに取り組んでいただく交付金を活用した活動の例を紹介します。

## 1) 清掃及びリサイクルに関する情報の発信及び伝達に関すること

- 啓発チラシ作成及び配付にかかる各種費用
- 地域内での講演会の開催
- 分別勉強会の開催

## 2) 資源物及びごみの排出方法、収集日及び集積所の清潔保持の啓発に関すること

- 資源回収ボックスやごみステーションに掲示する看板作成
- 不適切な出し方による残りごみ分別作業やごみステーションの見回りに対する報酬
- 資源回収ボックスやごみステーションの整備（新設や修繕）
- 残りごみ分別後の排出時に使用のごみ袋の配布

## 3) 集団回収その他の自主的リサイクル活動の普及啓発に関すること

- 資源回収実施時の回収や分別作業
- 資源回収場所の整備
- 資源回収場所の維持管理

## 4) 環境負荷の少ない生活様式の普及啓発に関すること

- 地域内での貸出用生ごみ処理容器購入
- 清掃啓発に係る美化活動

※上記の活動がすべて該当するわけではありません。

いずれの活動も、活動を通じて、ごみの資源化・減量化の普及と推進につながるものが対象です。

### 《募集》

情報紙に掲載させていただける各住民自治協議会の活動を募集します。

他の地域の参考となるような活動や地域独自のユニークな活動の報告をお待ちしています。

### ●編集後記●

去年に引き続き、今年も新型コロナウイルスの影響で講習会が中止となりました。そんな中、広島中央エコパークが稼働開始し、焼却施設からのごみはゼロ（全て資源化）となり、資源化を促進していくこととなります。また、これからのプラスチックのリサイクルを見越した「その他プラ」の分別の新設をはじめとした分別の見直しも行いました。最初とはまどうことが多いと思いますが、未来のためにしっかり分別していきましょう。